

個人山行

## 上州：武尊山

- ◆日程 2020年11月22日(日)  
 ◆メンバー L: OT  
 ◆天候 晴

真冬用の寝袋を被っての車中泊だが明け方に寒さで目が覚めた。放射冷却で冷え込んだためだ。今日は武尊山。連休を利用して昨日登った両神山から足を延ばした。もう積雪していてもおかしくはない。途中の道路に積雪が無いことは確認済みだが早朝は凍結が心配だ。カップ麺で体を温め、外が明るくなるのを待ってから登山口に移動。武尊神社の先の林道終点に駐車したかったが、進入禁止。武尊神社手前の駐車場に車を置いて出発した。

始めは林道歩きでウォーミングアップ。剣ヶ峰山ルートとの分岐から尾根に取りつく登山道が始まる。標高が1700~1800m辺りで雪が目立ち始める。稜線に乗ってすぐの手小屋沢避難小屋はルートから降りたところにあるが、谷川岳のオジカ沢ノ頭避難小屋と同じ蒲鉾型のような。山頂が近付くと鎖場が連続し出した。北斜面なので雪が凍結していたりするが、そんな場所ほど絶壁の上であり、前日の両神山よりも危険度が高く緊張する。最後の壁では念のためチェーンスパイクを装着。後は山頂まで快適な雪歩きとなった。

山頂からは360度のパノラマ。雪を被った越後の山々のほか、富士山もはるかに見える。谷川岳はまだ雪が少なく、12月前半に雪訓をする天神尾根のスキー場にも雪が無い様だ。風が強いが、昨日ほどでは無いらしい。明日は天気は崩れる予報なので、幸運なタイミングで登ることができた。

正午に下山開始できれば十分なので、近隣のピークをめぐることにした。まずは隣の中ノ岳。が、中ノ岳には登り口が無く、ただの巻き道だったと近付いて分かった。引き返し、次の目標である剣ヶ峰山に向かう。アップダウンのあるルートなので陽の当たるぬかるんだ斜面と日陰で凍結した場所が交互に現れる。チェーンスパイクは装着したまま進んだ。剣ヶ峰山からの眺望もよい。武尊山の堂々とした山容がここからなら良く分かる。新潟からのハイカーとひとしきり話すうちに下山開始予定の正午。凍結した北斜面を下り、凍結がなくなる1700m付近でチェーンスパイクを外した。明るいうちに帰途に就いた。

二日間で性格の違う二山を楽しむことができ、充実した旅になった。連休最終日は休息日に充てるのが丁度良さそうだ。(記: OT)

CT: 道の駅水紀行館 6:10 = (車) = 武尊神社(裏見ノ滝) 駐車場 7:00 - 手小屋沢避難小屋分岐 8:25/8:35 - 武尊山 10:00/10:20 - 中ノ岳手前 10:30 - 武尊山 10:45 - 剣ヶ峰山 11:30/12:05 - 駐車場 14:10 = (車) = 自宅

